

2004-10-4 <<西暦と会場番号, 報告順を明記。10pt>>

<<1行あき>>

〇〇〇の×××分析

—△△△を対象に—

<<10.5pt で1行空ける>>

夏目 鷗外*・芥川 治**

(*□□大学・**◇◇研究センター)

A ××× Analysis of 〇〇〇 (Ougai NATSUME, Osamu AKUTAGAWA)

<<題名 20pt, 副題 13pt, 英文タイトル 著者名英文表記 Times New Roman 11pt>>

<<執筆者名 13pt, 所属組織名 11pt。*印は, 全角で上付1/4倍>>

<<下, 左段との間を2行, 右段との間を1行あけること。空白行 10.5pt>>

I 課題と方法 (見出し)

<<1行あき。10.5pt>>

1 ◇◇◇◇ (小見出し)

<<1行あき>>

わが国の.....

<<A4判で, 22字(2段組)×42行

JSないしMSの明朝体, 10.5pt

句点は丸(。), 読点はカンマ(,) >>

<<見出しは, 14ptで半角1文字あけて, ローマ数字

小見出しは, 10.5ptで1文字あけて, ゴシック体,

見出しは, 小見出し(算用数字)までとする。

ただし, 必要な場合には, 半角両カッコを使用し, 左端の見出し文字と下行3番目の文字とが揃うようにする。この場合, 下を1行あけないこと>>

である^{注3+}。<<注釈指示や文献番号は, 上付1/4倍>>

.....

<<1行あき>>

注3+.....

注4+佐藤^[1]は,.....

<<注は, 文中の 注)で通し番号をつけ, 各見出しの末にくる。 10pt
また, 複数行になる場合は, 2行目以降, 左端の文字を上の片カッコの右の文字に揃えること>>

<<1行あき。10.5pt>>

II モデル

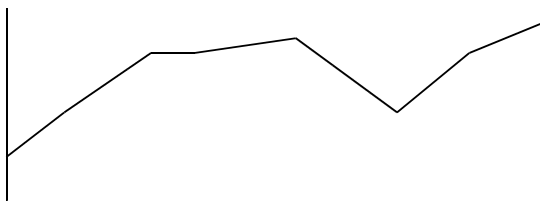
<<1行あき。10.5pt>>

.....

<<注意事項>>

- ① 執筆者が1名ないし執筆者全員が同じ所属の場合には, *印を付けないこと。
- ② 見出しを除く 数字は半角文字, フォント Times New Romanを用いる。注番号, 引用文献番号にも適用する。ただし, 数式は自由 (例 : ; 戸, 32"戸, 30Jc)

<<図表と見出しや文章との間は、上下とも1行あけること>>



第1図 ×××の推移

資料（出所など）：・・・
注：・・・・・・

<<図表は、1段内か、2段内に割り付けること。
余白が生じて、そこには文章を記さないこと>>

<<図表の文字は、小さすぎず、明瞭に読めること>>

<<ゴシック体は、原則として図表の標題のみ>>

<<図表の標題は、ゴシック体で10pt、中央揃え>>

<<図表の注は、9pt。行間隔(改行幅)を0.75(3/4)まで詰めてもよい>>

.....
.....
.....

.....
.....
.....

第1表 ◇◇◇の概況

	<<罫線は、上だけを <u>二重線</u> とし、 また左右両端には引かないこと>>

資料：・・・・・・
注：1)・・・・・・
2)・・・・・・
3)・・・・・・
.....
.....

<<他会員からみて意味のない付記をしないこと>>

<<1行あき>>

[引用文献]

<<標題は、ゴシック体で10pt、中央揃え>>

<<1行あき>>

[1]著者名(2001)：「題名」、『雑誌名』, 34(5),
pp.10-19. <<巻号は、単に数字のみを表記>>

<<頁数表記は、英和辞典のp.を参照のこと>>

[2]著者名(1999)：「章名」, 編著者名(編),
『書名』, 出版社名. <<句点はピリオド>>

<<注が複数行になる場合は、2行目以降、
左端の文字を上のコロン(:)ないし
片カッコに揃えること>>

<<著者名のアルファベット順に列記 10pt
2行目以降は、左端を1.5文字あけること>>

投稿(予定)者 各位

報告論文は、学会誌(B5判)に写真製版されます。このため、報告論文の原稿(A4判)は、上記の見本にしたがって作成して下さい。所定の書式から著しく外れた原稿は、編集委員会事務局が受け付けない(「原稿到着受取通知」を発行せず返送する)こともあります。受け付けられたとしても、その書式のままで、掲載が認められることは決してありません。

また、図表内の文字が原稿レベルで小さいと掲載時に一層小さくなるので、読者に配慮して図表を作成して下さい。

なお、原稿の印刷にあたり、上質紙(注：受理後に提出する写真製版用原稿の場合)とともに、可能な限り印字のきれいな印刷機を使用して下さい。